

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,335	病院救急車活用モデル事業
合計	3,335	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県保健医療計画（第7期）
第3部－第2章－第6節 救急医療対策

(2) 国・他県の状況

- ・ モデル的に実施するものであり、国庫補助が継続する限り継続して実施。

(3) 後年度の財政負担

- ・ 病院救急車を活用することで、消防救急車の適正利用が図られるため、消防機関がより緊急性の高い救急現場で活動することができ、地域医療の質が向上することから、県が補助を行うことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 病院救急車を活用することで、消防救急車の適正利用が図ることで、消防機関がより緊急性の高い救急現場で活動できるようにすることで、地域医療の質の向上をめざす。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
救急搬送に占める軽症患者搬送件数の割合	(H)	39.3% (H29)	38.4% (H30)	38.3% (H30)	37.5% (R3)	98%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
○	<p>救急搬送を要しない患者による消防救急車の利用が増加しており、病院救急車を活用したモデル事業を実施することで、本事業による地域の救急医療体制に与える効果を検証することができ、これらの成果を県の救急医療体制に生かすことができるため、補助金を交付する必要性が高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>本事業は国が実施するモデル事業であり、事業の効果を分析し、県として継続して行っていくかを判断する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>事業の効果を分析するためには時間を要するため、国がモデル事業として継続していくのであれば、引き続き継続して事業に取り組んでいく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	

